

ぷるるね図書館だより

No. 168
～Since 2000～

発行 新潟市立白根図書館
新潟市南区田中383 電話 (025) 372-5510
shirone.cl@city.niigata.lg.jp
平成26年5月発行

くらしのなかに図書館を



いつもいっしょ、本といっしょ。



2014・第56回こどもの読書週間
4/23～5/12

白根図書館こども読書週間イベント

5/10(土) 春のスペシャルおはなし会

時間：1回目 午前11時～11時30分
2回目 午前11時30分～12時
3回目 午後2時～2時30分
4回目 午後2時30分～3時

会場：おはなしのへや

1回目と3回目は小さい子向け、2回目と4回目はひとりで聞ける子からです。

春にぴったりのおはなしを用意してお待ちしています！

新潟市立図書館全館共通イベント

～5/31(土) るーぽん！ おすすめの本！

みなさんの好きな本はどんな本ですか？ おすすめの本を教えてください。

展示架にはおすすめしてもらった本が並べてあります。ぜひ読んでみてください。

紹介してもらった本



- ☆『おばけのおつかい』 ☆『ルルとララのきらきらゼリー』
 - ☆『ふたりはともだち』 ☆『にんじんさんだいこんさんごぼうさん』
 - ☆『大どろぼうホツェンプロッツ』 ☆『ジャッキーのいもうと』
 - ☆『魔女のネコ』 ☆『きょうりゅうたち』 ☆『ギネス世界記録』
 - ☆『パンやのろくちゃん』 ☆『へんしんプレゼント』
 - ☆『魔法の庭のピアノレッスン』 ☆『ただいま魔法旅行中。』
 - ☆『どんなきも名探偵』 ☆『じんべいの絵日記』
- など。みなさんご紹介ありがとうございます。まだまだ募集中です！！

「おすすめの本紹介カード」はぬり絵もできるよ。みんなのおすすめの本を教えてね。





4月の読書会

4月20日(日)

参加者 9名

今月のテーマ

「中学生になったあなたにすすめたい本」



進級・進学の時節ですね。

◆『だれも欲しがらなかったティディベア』◆

ジャネット・アルバーグ/作 アラン・アルバーグ/作
(講談社)

縫い目を失敗し、ちょっと不格好になってしまったうぬぼれ屋のティディベアの話。中学生になって、人形で遊ぶようなことはなくなったが、この本を読んで、昔遊んでいた人形に触れなくなった。

◆『GOSICK-ゴシック-』◆

桜庭 一樹/著 (角川書店)

架空の王国を舞台にした探偵小説。ある学校に閉じ込められている頭脳明晰な少女と、日本からやってきた少年が、事件を解決する人気シリーズ。娘から紹介されたのがきっかけで読み始めた。軽い文体で、中学生にも読みやすい。

◆『太郎物語 高校編』◆

◆『太郎物語 大学編』◆

曾野 綾子/著 (新潮社)

昭和の高校生の話。作者の息子と同名の「太郎」が主人公で、太郎の母も作家として描かれている。主人公の太郎は大人びた子ども。意志が強く、他人の考えに流されない太郎の姿が印象的。中学生にも読みやすい内容なので、ぜひ薦めたい。

◆『羅生門 杜子春』◆

芥川 龍之介/著 (岩波書店)

芥川の名作。自分も若いころに何度も読んだ作品。中学生にも読みやすいものも多い。

◆『海辺の王国』◆

ロバート・ウェストール/作 (徳間書店)

戦争で家や家族を失った少年ハリーと、一匹の犬が旅する物語。戦争中のイギリスを描いた話だが、暗い感じはあまりなく、少年の成長物語として読める。本作では犬が出てくるが、同作者の作品『クリスマスの猫』では、猫が出てくる。作者は戦争を背景にした作品を多く書いている。ほかの作品もお薦め。

◆『カニグズバーグ作品集 9』◆

カニグズバーグ/著 (岩波書店)

「13歳の沈黙」を紹介。ある事故をきっかけに話せなくなった13歳の少年。その事件の真相を追う物語。事件の解決よりも、少年が抱える家庭の問題など、事件に隠された真相を読み込んでほしい。

◆『自分を育てる読書のために』◆

脇 明子/著 小幡 章子/著 (岩波書店)

この中に紹介されているような本も、中学生にぜひ読んでほしい。

◆『14歳からの哲学 : 考えるための教科書』◆

池田 晶子/著 (トランスビュー)

「考える」ための一冊。答えのないような問題も、この本をきっかけに徹底的に考えてほしい。日常に使う言葉で、わかりやすく書かれていて、中学生にお薦め。

そのほかにも紹介されました！

- ◆『車輪の下』◆ ◆『生きのびるために』◆
- ◆『クローディアの秘密』◆ ◆『えんの松原』◆
- ◆『新13歳のハローワーク』◆
- ◆『13歳からのシンプルな生き方哲学』◆
- ◆『影との戦い』◆ ◆『種の起源』◆ など

5月の読書テーマ



「これはおもしろい“れきし”もの」

5月18日(日) 午後2時～
会場 白根学習館ルーム2

申し込みはいりません。気軽に本のお話をしましょう。おいしいお茶とお菓子を
用意してお待ちしています。

白根図書館友の会共催



読書会は好きな本を持ち寄っておしゃべりする、午後のお茶会のような集まりです。

図書館員がおすすめする
この1冊



勇氣凜凜ルリの色

浅田 次郎/著
講談社

5月に入って、少し新しい環境に慣れてきた頃でしょうか？それともまだまだ慣れない日々で、ちょっぴり疲れてしまったな・・・という頃でしょうか？慌ただしくて、本なんて読む暇ないよ～という方！エッセイなど読んでみるのはいかがでしょう！

今回紹介する本は、『鉄道員』などで有名な浅田次郎さんのエッセイです。この方は、自衛隊に入ったり、アウトローな世界で働いたりしながらも、ずっと「小説家になること」だけは諦めずに邁進してきた方です。その突き進んできた生き方に、「ふふっ」と笑ったりしながら、読んだ後は少し元気がもらえると思います。ちょっとした空き時間や寝る前などに読んでみてはいかがでしょう。（早川）

子どもたちといっしょに



ほくそらをさわってみたいんだ

さとう わきこ/作
岩井田 治行/絵
ポプラ社

「そらってあたたかいのかな？それともつめたいのかな？」

空を見上げてねこは不思議に思いました。確かめようと手を伸ばしても、空は高く届きません。けれども、つぎつぎにやってくるどうぶつたちに手伝ってもらい、ねこの手はだんだんと空に近づいていきます。柔らかいタッチで描かれた動物たちが、とても優しく愛らしく思えます。

春になり、青空を見る機会が増えました。

そんな季節に手にとって読みたい一冊です。（加藤）



親子で楽しめるえほん

新潟市立図書館全館共通イベント

「るーぽん！おすすめの本！」

4月23日から5月12日は「こどもの読書週間」です。

あなたのおすすめの本を教えてください！

あなたのおすすめの1冊が、誰かの新しい「本との出会い」につながります。



今月の展示架
～6/3

白根図書館 6/3 までの行事

白根図書館休館日 毎週金曜日・毎月第一水曜日

5/9(金) 5/16(金) 5/23(金)

5/30(金) 6/4(水)

おはなしのじかん

毎週土曜日

絵本のよみかたり

午後2時10分～

ストーリーテリング

午後2時30分～

おはなしかご例会

毎月第二、第四土曜日

※白根図書館で活動しているボランティアグループの勉強会です。

5/24(ルーム4.5) 午前10時～

*5/10はスペシャルおはなし会のためありません。

6月のブックスタートは
3日(火)です。

読書会
(毎月第三日曜日に開催)

5/18(ルーム2) 午後2時～

4月の来館者数…… 11,596人

月潟図書館だより

2014年 5月

編集・発行 新潟市立月潟図書館

〒950-1304 新潟市南区月潟 1417 番地 電話：025-375-3001



月潟図書館は、4月20日で開館17周年を迎えました。

5月の企画展示（入口正面の展示コーナー）

- ★一般向けテーマ：「心と体を元気にしよう！」
- ★小・中学生向けテーマ：「自転車月間—交通安全—」



暖かくなってきました。体を動かして心もほぐしましょう。もっと楽しい時間を過ごしませんか。



交通ルールやマナーをご家族でもう一度確認してみませんか。



『草と木で包む』

たくさんのおふしぎ傑作集（福音館書店）
笹で包まれた食べ物といえば、笹団子、笹あめ。草や木を使ったものがいろいろ紹介されています。どれもきれいでおいしそう。物を包む文化、大切にしたいですね。（大野）



新 着 図 書



U.G.サトー 文と絵 後藤九・酒井道一 写真

こども読書週間行事

るーぼん！おすすめの本！

市立図書館18館で開催中！

みなさんのおすすめの本をるーぼんカードに書いて参加しよう。館内に紹介された本を展示します。

【期間】4月20日(日)～5月31日(土)

こどもとしょかん

シンボルキャラクター るーぼん



いつもいっしょ、本といっしょ。



2014・第56回こどもの読書週間
4/23～5/12

月潟図書館 **5**月のカレンダー

休館日

5月5日(月)、6日(火)、7日(水)、12日(月)、19日(月)、26日(月)

開館時間

火曜～金曜：午前10時～午後7時
土曜～日曜：午前10時～午後5時

毎週土曜日10時30分～11時、おはなしのじかん開催中